

「まち歩き」ガイド育成へ

事業計画 総会で承認 観光マップも作製

木古内町観光協会

【木古内】町観光協会は9日、木古内商工会館で、本年度の定期総会と、北海道坂本龍馬記念館（函館）の三輪貞治館長を招いた勉強会を開いた。役員改選では、3期6年務めた東出文雄会長の後任に、工務店経営の佐藤裕史さん（63）を選出した。

（恵本俊文）

新会長に佐藤裕史さん

総会には会員ら約30人が出席。町が取り組む「まち歩き」事業に、ガイド育成などで連携

「まち歩き」事業に、することなどを目標に、観光PRポス
タールやA4判の観光マップを新規作製するほか、同協会が担う体験観光に、町が専門スタッフ1人を配置することが内定したことなどを盛り込んだ本年度事業計画を承認した。

新会長に決まった佐藤さんは「新幹線開業で、木古内町は未体験ゾーンに入っていく。

若い方々の力を借りる機会が多くなり、成長を見守りながら育てていくのも仕事のひとつ」と抱負を語った。

勉強会では、三輪館長が「坂本龍馬と北海道」をテーマに講演。会長の木元護さんが顧問



「町の力を借り、商工会と二人三脚で」と就任のあいさつをする佐藤会長